夏に起こりやすい感染症

ヘルパンギーナ



症状

夏によくかかる、ウイルス性の夏かぜの一種です。喉の痛みを伴う、39℃以上の高熱が2~4日間続きます。喉の奥が赤くなり、小さな水ほうやかいようが見られるのがこの病気の特徴です。下痢や嘔吐などの症状が出ることもあります。

家庭での処置

高熱が出るため、脱水症状や熱性けいれんを起こすこともあります。熱性けいれんの既往がなければ解熱剤で一時的に熱を下げてもよいでしょう。水分補給をしっかりと行うことも大切です。 嘔吐が見られたり、食欲が著しく低下しているようなら、医療機関を速やかに受診しましょう。 感染力はそれほど強くなく、1~4日で熱は治まります。

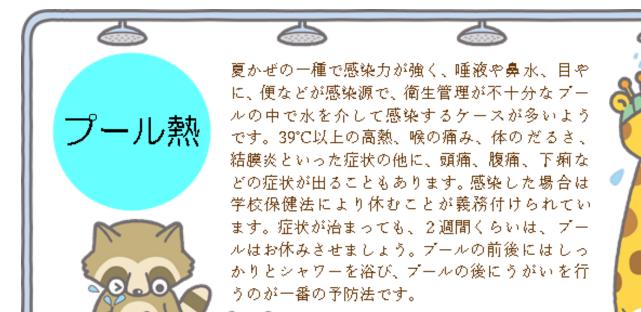
手足口炉

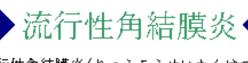
乳幼児の間で流行するウイルス性の夏かぜの一種で、飛沫感染します。手足や口の中に水ほうや赤い湿疹が出るのが特徴で、ひざやお尻に出ることもあります。症状は3~5日で治まりますが、その後も2~4週間は便からウイルスが出るので、周囲の人に感染しないように注意しましょう。ウイルス性のかぜのため抗生物質は無効で、自宅療養での自然治癒を待ちますが、発熱や嘔吐がある場合は症状を緩和する薬を医師に処方してもらいましょう。





口の中に水ほうが出ている間、お子さまに食欲がなければ、水分補給さえしっかり行えば大丈夫です。食欲があるようなら、冷たいスープなどを与えてみましょう。





流行性角結膜炎(りゅうこうせいかくけつまくえん)はアデノウイルスの感染で起こる、結膜炎の中でも一番典型的な病気で、1~5歳によく見られます。潜伏期間が8~14日と長く、目の充血、多くの目やに、涙に加え、リンパ館の腫れや痛みなどを伴います。感染力が強いので、発症したら医師の指示に従い、許可を得で、発症したら医師の指示に従い、許可を得でから登園しましょう。症状は発病してから1週間くらいがピークですが、充治には2~3週間かかります。感染力も強いため、タオル、ティッシュペーパー、洗面器など、顔に触れる物の共有は控えましょう。



これらの感染症が疑われる場合は、速やかに病院に受診してください。

該当感染症に罹患した場合は、「学校感染症等に係る登校・登園に関する意見書」または「登園届(保護者記入)」が必要となります。

感染症に罹患したと分かった時点で、当 園に連絡(072-848-1647)をしてくださ い。

感染症を広めないために感染症の出席 停止期間を守り、登園してください。

※「学校感染症等に係る登校・登園に 関する意見書」は医師の記入が必要な 書類です。